

Satelliteサーバによる運用管理体制の統一化とセキュリティ対策 ～Smart Management導入～

課題

- インターネット接続のないクローズド環境におけるRHELサポートをしたい
- 大量のサーバを一括管理したい
- パッチ適用状況の見える化

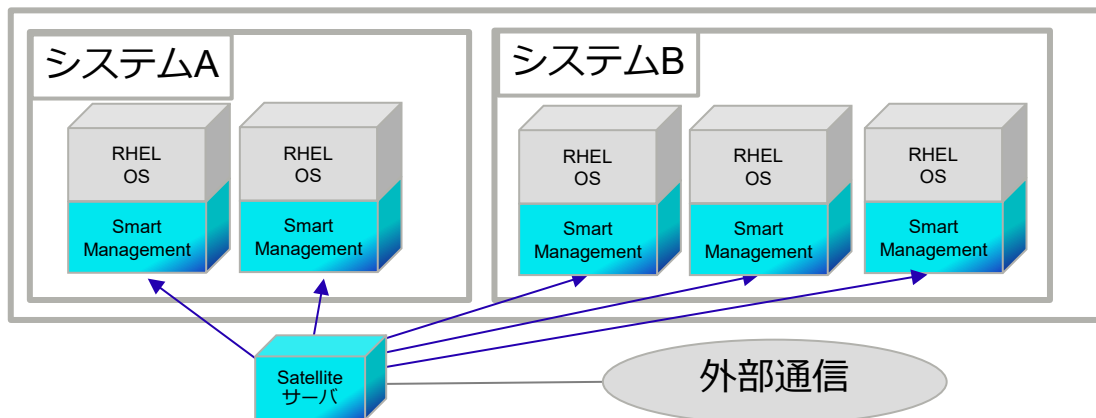
効果

- クローズド環境における運用管理を実現
- 1つのコンソールから数千台規模でサーバを管理・制御
- パッチ適用状況が容易に確認可能

適用のポイント

Smart Managementを活用したクローズド環境におけるサーバの効率的なパッチ適用と一括管理の実現

- クローズド環境における運用管理を実現
Smart Management + Satelliteサーバにより、外部通信を集約し、通信効率化も実現
- 1つのコンソールから数千台規模でサーバを管理・制御
サーバを一括管理し、サブスクリプション管理・構成管理・リモートパッチ適用を行う事で、運用コストを削減
- パッチ適用状況が容易に確認可能
タイムリーなセキュリティ報告・運用を実現



業務ごとのシステム整備や大規模災害対策のためのシステム分散配置により、運用コスト増大、管理の複雑化が発生。

共通基盤化で、業務目的により異なるシステム構成(OS、VL、外部接続の有無)、運用要件への対応とコスト削減を期待

[本ソリューションに必要な商品]

- Red Hat Enterprise Linux Server
- Smart Management Add-on

- 富士通のLinuxソリューションや、Linux製品についてのお問い合わせは、下記お問い合わせページよりご依頼ください。

Linux/OSS情報へのお問い合わせ

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/os/linux/contact/>